

東京  
芸術  
劇場

Tokyo  
Metropolitan  
Theatre

公益財団法人東京都歴史文化財団

## 東京芸術劇場

### 寄 附 趣 意 書

東京芸術劇場は、音楽、演劇、舞踊、演芸などの舞台芸術の振興と、その国際的な交流を図るために、平成2年（1990年）10月に池袋西口エリアに開館しました。その後、平成23年（2011年）着工の大規模な改修工事を経て、平成24年（2012年）9月にリニューアル・オープンし、多様化する舞台芸術を最高峰のレベルで創造し、また表現活動を行う施設として、ますますその存在感を増しています。さらに、バリアフリー対策など、設備面も改善されました。

オーケストラや合唱、コンサートオペラ等を中心とした演奏会専用のコンサートホール（大ホール）には、世界最大級のパイプオルガンを配しています。このパイプオルガンは180度の回転式で、ルネッサンス・バロック・モダンの各時代の音楽をその時代の調律法で演奏できる特色を備え、月に1回はパイプオルガンの演奏会を開催しています。また、国内のプロ・オーケストラや海外オーケストラの演奏会はもとより、アマチュアや若手音楽家の育成プログラムにも力を入れています。

プレイハウス（中ホール）シアターイースト（小ホール1）シアターウエスト（小ホール2）の3つの劇場は、舞台機構や舞台演出設備（音響や照明、映像など）はもとより、ロビーや客席も全面改修をおこない、サービスも一新されました。2009年より、戯曲家・演出家である野田秀樹氏を芸術監督として迎え、若手を中心とした幅の広い現代演劇・ダンス作品の紹介に努めています。さらに「にぎわい事業」やワークショップ、レクチャーなどの開催にも力を入れ、地域連携や若手アーティスト育成、舞台芸術の創造発信により一層の貢献をしていく所存です。

これらの活動を継続していくためには、安定的な事業運営の基となる財政基盤を拡充させる必要がございます。もとより公立劇場として基本的な事業運営費は、都や当財団が支えるべきであることは言うまでもありませんが、より多彩で充実した事業運営のためには広く皆様からのご支援が欠かせません。

つきましては、東京芸術劇場の活動へのご理解とご協力を賜り、趣旨をご理解の上、ご寄付をいただけますようお願い申し上げます。

公益財団法人東京都歴史文化財団

理事長 日枝 久

東京芸術劇場

館長 萩田 伍